

東九州支部報

第106号

公益社団法人日本山岳会東九州支部 2024 年 7 月 25 日(木)発行



新入会員オリエンテーション (2024年4月12日)

	ŧ <	C C	
1. 支部活動		より安全な登山のために(No.54)	12
新入会員等オリエンテーション	2	古典「山岳」拾い読み(No4)英彦山	13
登山教室 座学、実地(合頭山、猟師岳)	2	こぎこぎ倶楽部山行 場照山稜線	15
スズタケ枯死とシカの食害調査	3	こぎこぎ倶楽部山行 中之嶺~陸地峠	16
6月シニアトッレキング 彦岳	4	こぎこぎ倶楽部山行 立石トンネル上の稜線	17
6月 月例山行 傾山	5	祖母傾完全縦走	18
アップスキリング山登り 霊山の南山麓	6	富士山での高所トレーニングに参加して	19
アップスキリング山登り 西叡山東山麓	7	立石峠と宗太郎越え	20
アップスキリング沢登り 麗谷	8	私の無名山ガイドブック(No93)	21
アップスキリング沢登り 鳴子川	9	令和 6 年度本部通常総会	22
日本山岳会 120周年熊野古道集中山行	10	3. お知らせコーナー	22
2. 個人投稿		後記	24
ペンリレー(第 49 回)	11		

新入会員等オリエンテーション

佐藤裕之(会員16135)

令和6年 新入会員等オリエンテーション 4月12日 コンパルホール第300会議室 出席者 41人

懇親会 天使の梯子 出席31人

新入会員等(準会員・会友及び入会予定者を含む。)に対する日本山岳会の活動等についての説明会(オリエンテーション)を4月12日、コンパルホールで開催した。

この説明会は、例年新たに入会した会員等に日本山岳会の歴史や活動状況を説明し、併せて準会 員及び会友の方々に正会員への入会をお勧めする ものである。

コロナ感染対策の関係から令和2年から4年ぶりの開催とあって、対象者は60人以上にのぼり、うち41人の出席という賑やかな説明会となり、広すぎるのではないかと心配した300会議室も、広さを感じさせない盛況となった。

説明は、日本山岳会の活動状況について安東支部長、本年の例月山行等について笠井会員、司会は下川副支部長にしていただいた。

出席者は、真剣に説明を聞いており、まことに 意義ある説明会となった。このオリエンテーショ ンの効果があったかどうか、早速、複数の入会予 定者があると伺っている。多くの方々が会員にな るよう切に希望するものである。

その後、開かれた懇親会も31人の出席を見て、 佐藤彰会員の名司会も相まって大いににぎわい、 それぞれ、懇親を深めることができた。

5月16日(木) ホルトホール大分405会議室 登山教室も第11期を迎えることとなった。



登山教室 第1回 座学

登山の基礎について

佐藤裕之(会員16135)

今年度の受講生は例年より多く、29人、うち28人が出席という出席率の高い講座となった。 内容的には、例年と同じく、登山の基礎について、阿南事務局長と中野会員から講義をしてもらった。いくつか、質問も出るなど、皆さん、なかなか熱心である。次の実地研修(5月26日)で早速、座学で学んだ成果を生かした受講生もあり、有意義なものと感じる。

最後に次回研修(合頭山、猟師岳)について注 意事項を述べて散会した.

出席 受講生 28人

支部 安東、阿南、中野(稔)、佐藤(裕)、佐藤(彰)、笠井



登山教室 第2回 実地研修

合頭山(1.384m)猟師岳(1.423m)

米 田 寛(会友 289)

5月26日心配された天気も晴天に恵まれ、第 11期登山入門教室第2回講座が合頭山、猟師岳 で行われました。

集合場所の九重森林公園スキー場駐車場には8時半の集合時間に不参加の1名を除く33名が集合。担当の佐藤裕之さんから登山計画書、当日の日程やコースについて説明の後、ストレッチを中心にした準備体操、その後参加者が5班に分かれ、各班にリーダーがついて用具などの点検が行われました。



これまで高年者用のガイドブックなどを参考に 自分なりに経験を積んできたつもりでしたが、靴 紐の結び方、ポール先端のゴムカバーを外すこ と、ザックファスナーの締め方、ペットボトルな どはザックの中に入れておくことなど注意があ り、この日の登山で自分がしてきたことのあいま いさに気付くことができ、リーダーの指摘に納得 がいきました。

教室はスキー場から出発。スキーをするために何度かここに来たことがありますが、雪のない草っぱらのスキー場を歩くのは初めてでした。直前の24日に扇ヶ鼻にミヤマキリシマの鑑賞登山をし、少し期待はずれでしたが、その日山頂で出会った福岡の人からの、23日に今回と同じスキー場からのコースで登ったらミヤマキリシマがきれいだったという情報どおり、いたるところで満開のミヤマキリシマの歓待を受け満足しました。

教室は適度な休憩をはさみ、合頭山、猟師岳の 頂上に立ち、集合写真など撮ったあと、昼食は展 望が開けた場所へ移動。昼食後猟師岳山頂経由で スキー場をめざして下山、少しコースをはずれた りしながら予定の14時に到着し、整備運動のあ と解散。私は同じ班の男性と長者原で温泉に浸か り、体のケアをして帰宅しました。



今回の参加者では私が最年長かと思いましたが 姿勢がいい、脚がしっかりしているなど声をかけ られ少し気分を良くした自分がいました。これか らも、会員のみなさんとできるだけ長く山登りが できるよう頑張りたいと思った教室でした。

出席者 受講生 24人

支部 佐藤(裕)総括、阿南、中野(稔)、佐藤(彰)、 笠井、中野(梨)、上野、佐藤(美)、佐藤(貴)

スズタケ枯死とシカの 食害調査

阿 南 寿 範(会員 9169)

6月1日(土) この調査は2012年~2016年までの57年間、大分県植物研究会が県の委託を受けて行うシカの食害調査に、当支部が協力するかたちで進めてきたものでるが、2017年に「奥山地域植生等調査報告書V」にまとめて、委託調査期間を終えたものであるが、同研究会と話し合って、その後も独自の調査を継続的に行うことにしている。

今回の調査は、久々の調査であった。今までコロナの影響や大雨による県道緒方高千穂線の道路事情等の事情により、4年間調査が出来なかったのである。

午前7時に、道の駅「原尻の滝」駐車場に集まったのは、全部で13名である。(大分植物研究会関係者8名、日本山岳会東九州支部5名)である

今回調査の連絡が遅かったため、また、久々での調査のため果たして何名の方が集合してくれるのか心配であった。全員集合ののち、この会のお世話役のリーダーから、この会の意義(継続的調査を続けないと意味がない)と、あいさつがあり、調査の内容については、登山口(尾平トンネル宮崎県側)で説明を行うことということで、ここから5台の自家用車に分乗し登山口へ向かった。久々のこともあって調査の期待と不安を抱きながら、約1時間揺られて登山口に着いた。途中

は、工事箇所が数箇所あったが、車列は少しも遅れることもなく全員到着した。

各自の登山準備が整った後、13名が集合。リ ーダーから改めて、今回の調査の内容が発表され ました。「今回の調査は定点位置でのスズタケ群 高調査は、一旦おいて置いて、コドラート調査を 行ってもらうとの事でした。このコドラート調査 (調査地を一定の大きさの区画に分け、それぞれ の内部を標本と見なす調査方法)。調査範囲は、 尾平トンネル上部稜線をスタートし、定点観測地 点(本谷山西側稜線沿い)までの16箇所。ポイ ント地点を設けて観測を続けて行くものである。 一通りの説明を終えたのち、安東支部長から、今 回出来たばかりの「祖母・傾山・大崩山のグレー ディングマップ」が配られた。手にしたメンバー はありがたそうに覗き込んでいた。この後、一人 ずつ簡単な自己紹介を行い取り敢えず、調査開始 地点のトンネル上部の稜線に上った。時間を掛け て周辺の動植物を確認しながら登った。

今回の調査は最終的に、前回の調査に比べて分布・生育状況は殆ど変化が無かったことがわかった。いずれはトレンチの中も大きく成長が期待されるが、それも末永く経過観察が必要と思われるスズタケは、囲いネットの高さまで成長し柵の

スズタケは、囲いネットの高さまで成長し柵の 中と外では一目瞭然変化が見られた。シカの食害 のあるところ、無いところ、違いは大きかった。

定点観測地点(本谷山西側稜線沿い)の所で昼食とした。心地よい風が吹く。おにぎりもおいしく感じる。昼食後、全員で集合写真を取り、天気が良いので、観測地点より東側稜線の、東九州支



部会員で勝手に「喜和人岩」と命名した(この調査をリードされた故生野喜和人先生にちなんで名付けた)、天望の良い岩まで全員で足を伸ばし集



合写真に収まった。帰りは、来た道を引き返し、 尾平トンネル駐車場へ帰り、解散となった。研究 会のメンバーから、沢山の動植物の名前を教えて 頂いたが、思い出せるのはごくわずか?今後は少 しでも覚えて蚊帳の中入りたい。

次回は定点観測地での群高調査や、稜線の皮剥ぎ調査を実施する予定である。多くの人に参加して頂きたい。参加された方、お疲れ様でした。 <参加者>東九州支部:安東、阿南、飯田、 宮原、上野、ほか大分植物研究会メンバー6名

6月 シニアトレッキング 彦岳(638.4m)

三 重 野 恭 子(会友 280)

-2024年6月2日(日)-

彦岳は地元では、昔から乳房山と呼ばれ親しまれてきたそうで、津久見側からのルートからアプローチ。笠井さんの「安全で楽しく」を合図に出発、最後は中野さんがつとめて下さった。

新緑の中をフウフウと汗をかきながら登ると、時々吹いてくる風がなんとも心地良い。途中は水分補給を兼ねて休憩をはさみ景色を堪能。「コバタツナミソウ」「ツツジ」を愛でながら山頂を目指す。山頂は広く、権現社が祀られておりパンパンと拍手の音が聞こえる。天気は良いこともあり、佐伯湾が美しくのぞめた。予定より早くついて首藤先生(88歳)のお話を聞く。登山では、靴の選び方は大事(足先の指が動く大きさ)(解けない紐の結び方は冬山でも役立つ)、着地は地

面に平行に、足運びはリズム良く、(スーハー・スースーハーハー)…杖の質問も出たので、使い方は子どもを背負った時など三点確保使いで斜面側に杖を突くと安全等…う~ん、正確に書けてる自信がないけれど…お弁当を食べながら、登山経験豊富な方(日本・世界の山々)のお話を興味深く聞かせていただいた。記念写真を撮って下山開始。「けが無く安全に」「ゆっくり下山」と聞きつつ、気持ち的に帰りは何だか早く感じる。無事下山。皆さんのさわやかな顔、「楽しかった」また「会いましょう」と解散。お世話になりました。



参加者・・・笠井(CL)、首藤、中野(稔)、藤澤、神田、境、長野、雪野、平原(瑞)、榎園、青木、飛高、上橋、丸井(弘)、丸井(元)、井口、三重野、坂田、宮川 以上19名

傾山(1.605m)

6月月例山行報告

中野 稔(会員13997)

2024年6月16日(日)

傾山の伝説に、初代天皇である神武天皇の東征の際、四人の皇子と共に必勝を祈願して登ったとの記録がある。そのルートは、西山登山ロルート(払鳥屋)だと思われる。1392mのそで尾で東

傾山を通る冷水コースと合流、小一時間で山頂 だ。

月例登山は、3月4月5月と3回続けて雨で中止になり、天気予報も微妙でしたが、当日は東に大崩山、木山内、日隠山、西に古祖母、障子岳、祖母山、大障子、前障子などが間近に見え楽しい山旅となりました。

5時に原尻の滝の駐車場に集合、6時に九折駐車場出発。4名の事前に参加中止依頼を受け、12名での登山となる。観音の滝経由で、滝の上の沢を横切るときに足を滑らせて転倒したが、登山には問題がなかったらしい。日頃から体を鍛えている証らしい。数か月前に心臓の手術をした人がいたが、リハビリ登山での参加で完走できるか心



配していたらしい。事前に聞いていたら、断っていたと思う。70歳を過ぎているメンバーは、毎日数時間の訓練を実践していると聞く。

登山時間を、9時間から 10 時間位と思っていたが、実際は 11 時間半。ヘッドライトの世話にはならなかったものの、夢中に成る事の大切さを学べる絶好のチャンスととらえれば、貴重な時間を過ごせた事に感謝したい。

登りの三ツ尾尾根コースの醍醐味は、やはり危険な岩場の登攀と下りだ。ミニロッククライミングの連続でアスレチックコース。雨や強風の時は水場コースがお勧めだが、冬の凍結シーズンは、手前の岩場を迂回コースにした記憶がある。危険や景観が良いと記憶に残ると挑戦魂に火が灯る。

三ツ尾尾根から山頂までは一時間余りで着く。 山頂では石祠、ピンクのドウダンツツジと、祖母 大崩の山々が歓迎してくれて有難い。心配した天 気も快晴一歩手前で其れほど暑くない。一時半過 ぎに下山開始、途中 1378m千間山を気が付か ないで通過、二時半過ぎに九折越到着。 小休止して林道迄急な登山道を下り林道に出る。ここからが、勝負だ。気合を入れて岩場を乗り切り、カンカケ谷の落差 18m芥神の滝を横目に足早に通り過ぎる。渓流を横切る事三回斜面のトラバース道を行く。五時半過ぎに登山口である駐車場に着。S さん最後を守ってくれて感謝したい。M さんの的確到着時間指摘に有難う。

かつて登山教室の教師をしていた S さんが、両足に痙攣を覚えた Y さんをサポートして、一時半頃無事に駐車場に到着したとの連絡有難うございます。

6:00 九折登山□→観音の滝→7:20 林道取付き□→9:10 三ツ尾根→12:00 三ツ尾尾根ピーク→13:15 傾山山頂→14:45 九折越→15:20 林道→17:30 九折登山□参加者・・・中野(稔)(CL)、佐藤(秀)、佐藤(裕)、尾家、山村、中野(梨)、松浦、榎園、井村、河村、図師、濱田 以上12名

アップスキリング山登り 研修山行 霊山の南山麓

安 東 桂 三(会員 9193)

2024 年度研修山行 第2回「正しい山登りを 目指す」 4月21日出 霊山南山麓、改め北麓 天候が思わしくなく、午後から雨を予想した。 当初予定の霊山の南山麓の周回は、雨に降られる と滑落などの危険を伴うので、集合場所の七瀬自 然公園から近い霊山の北麓に研修会場を変更し、 雨が降られた場合にエスケープ出来るようにとし た。課題は、北麓の山中に散在する二つの不動明 王、馬頭観音を回り、地図に歩いたルートを記載 してゆき、読図の能力を高めること。最後に、三 つ目の不動明王の位置を伝え、そこにどのように に行けば到達できるかを考え、ルート取りをする こととした。あいにく二つ目の馬頭観音を確認し たところ、雨に降られはじめ、七瀬自然公園に戻 ることとなり、最終の不動明王にはたどり着かな かった。ルートは、七瀬自然公園駐車場~岡川常 楽寺~不動明王(標高 250m付近の沢筋)~馬

頭観音(不動明王から尾根を一つ越えた沢筋 標高 150m) ~七瀬自然公園。

馬頭観音へは、尾根を下ることになり、急峻な斜面は二度の懸垂下降をした。また、七瀬自然公園の東屋で昼食の後、質疑応答。簡単なロープワークをした。霊山の南山麓は、宿題となった。

国土地理院地形図 1/25000 図:野津原



参加者•••安東、佐藤(裕)、佐藤(彰)、上野、佐藤(美)、濱崎、荒巻 以上7名



平野地区の真南、直線距離約 700m、標高 270 mの尾根上に鎮座している不動明





(会員の皆様へ。このお不動さん、探してみませんか?)

アップスキリング山登り

研修山行 西叡山東山麓

河 村 典 子(会友 263)

2024 年度研修山行 第3回「正しい山登りを目指す」西叡山の東山麓の読図講習ということで、六郷満山でアップスキリング登山研修に参加させてもらった。

5月18日(土) 豊後高田市田染の「ほたるの館」駐車場に8:30に集合して、9人のメンバーでの山行であった。研修リーダーの安東支部長指導のもと、山行前に六郷満山、三浦梅園先生のご説明、基本的な地図の解説などをしていただいた。地図の説明では等高線は大きく分けて、二万五千分の1の地図では①太い線が【計曲線】で50Mごと、②細い線が【主曲線】で10Mごとにひかれている、そして緩やかな傾斜や複雑な地形を主曲線だけでは特徴を表せないときは補助曲線があるという。

まず、六郷満山巡路の中で「豊後高田市が危険だから」と「場所を特定していない」四十七番の

(良医岩屋(300m))と四十八番の(払阿弥陀堂 (350m)) を目指した。地図にルートが無いので 林道の取りつきから等高線の尾根と谷を読みなが ら進む。急斜面を這い上がりトラバースをし、谷 を越えて登りそして目的地を目指した。それらし い岩屋があったので皆で散々探したが見つからな かった。その代わり珍しいものに出くわした。そ れは一番若い R さんの悲鳴と共に皆を震撼させ た。「きゃー!、きゃー!!、きゃー!!!」 「な、なに、なに?」恐る恐る覗いてみると猪の 死骸であった。真っ黒な猪が横たわっていた。 「ひぃ!!」その隣を避けながら足早に向こう側 の岩屋へ行くと今度はすごい腐敗臭が鼻をつく。 嗅いだことがないすごい悪臭であった。「うわ ー!くっさい!なんだー!この臭い」そこを通り 抜けた女性5人がしかめっ面をした。しかし聞く とそこは袋小路であり、また引き返す羽目になっ た。なんだか、それだけでげっそり疲れた気がし た。男性陣は鼻が利くらしくその岩屋につく前か ら獣の腐敗臭を感じ取っていたらしい。私たちは 早くその場を離れるように、次の四十八番(払阿 弥陀堂)を目指した。

砂防ダムを横目に通り抜け急斜面を上り、ルートを読みながら進む。目指す四十八番付近は「この辺りだろう」と皆で捜索するがなかなか見当たらず。鬱蒼とした樹林帯の中を、安東さんも「この辺りのはず」との事だが目ぼしい標を見つけることができなかった。その後(470m)の岩屋へ、途中「地籍図根三角点 豊後高田市設置」を確認したが、なんと言ってもその事よりも素晴らしい眺望に感嘆の声をあげていた。





天気も良くこのような岩峰の上で見渡せる景色が ご褒美であった。その後「奥愛宕神社」の裏から 入りお参りして空木(うつぎ)を経由して田染荘 「ほたるの館」まで歩いた。

私は登山を始めて6、7年になる。その頃は既にデジタル時代なので「YAMAP」(ヤマップ)等スマートフォンのGPS(自分の現在位置を知るシステム)で現在地と登山ルートがわかる登山地図GPSアプリが存在していた。従って、今の私は申し訳ないことだが実際スマホ頼りの山登りである。今回の研修中も何度かGPSで自分の位置を確認した。20代の頃少々登山をしていたがパタリとやめ、私の登山の再開は前支部長の加藤英彦さんに連れて行ってほしいとお願いをし

てからである。加藤さんは皆も知るアナログ派の 筆頭である。(しかし82歳にして仕事でアイフォンも、アイパッドもサクサク使う)登山口に行く時でも、どんな時でも頭にある地図でどこへでも行き、知らない土地に行くときは必ず(二万五千の)地図を広げて確認して行く。車のナビは標準でついていたものを外したくらいだ。私は皆さんのように紙の地図を読める能力も気力もないけれど、今後の自分自身のために、少しは自分で読み解く力と判断力をつけていきたいと思っている。先日何千円もする高価なコンパスを購入したところだ。さて、使い方から学んでみたいと思う。

参加者···安東、中野(稔)、佐藤(裕)、笠井、中野(梨)、佐藤(美)、上野、井村、河村 以上9名

アップスキリング沢登り

研修山行 麗谷(山移川支流)

田 所 歳 朗(会員 14024)

2024 年度研修山行 第1回「沢登りを初級から学ぶ」5月11日(土)麓谷(山移川支流)今年最初の沢登は耶馬渓のうつくし谷で開催された初心者向けの沢登研修。昨日、会友に入会した

ばかり の田浦 と寺道 と3人 で長崎 から参 加し た。う つくし 谷の素 晴らし さは支 部報第 78号 に掲載 されて





いるのでここでは省略。今回は初心者向けなので 沢歩きがメインとなるが、一応、ロープやスリン グなどは持って行く。ハーネスを持っていくか迷 う所ではあるが、ハーネスは置いていく事にし た。山行も順調に進み、少し物足りなさを感じ始 めていると、右岸に登れそうな登れなさそうな微 妙なスラブを発見。

時間もあるので取り付いてみたら、なかなか手強い。フェルトの沢靴では小さな突起に足が掛からず、何度も滑り落ちてしまった。安東支部長と秋山さんが巻いてロープをセットしてくれた。ここまでしてもらったら、登るしかないでしょう。途中の立木にトップロープをセットして各自挑戦。靴はラバーが効くようでラバーの靴を履くものは軽々と登っていった。スニーカータイプの靴は全く効かず裸足で挑むが裸足は痛い。

全員登り終えたら沢を下って終了。今回の教訓は常にロープを持っていた方が、遊びの幅が広がる。より楽しく安全な登山をするにはロープを持って行きましょう。最後に新人の田浦君をよろしくお願いします。



参加者···安東、田所、佐藤(彰)、秋山、上野、甲斐(善)、荒巻、寺道、田浦 以上9名

アップスキリング沢登り

研修山行 鳴子川(玖珠川、筑後川の源 流)

上 野 展 子(会友 253)

2024年度研修山行 第2回「沢登りを初級から学ぶ」6月5日(水)鳴子川遡行(F=falls=滝)吉部駐車場8時30分集合後、安東支部長の話。最初に6月2日に神原本谷での沢登り下山中、滑落事故の救助現場に遭遇し、メンバー5人で手伝ったと話があった。どのように負傷者を登山道まで引き上げヘリまで運んだのか説明。何よりも大切なのはリーダーシップ・メンバーシップで、リーダーの指示の下それぞれが役割りをこなす事だと。次に本日の遡行図を貰い、ルート説明。F1~F3まで行く事。遡行図にあるF2、F3は地形図にないのは何故か、滝の記号と滝の定義(流水が急激に落下する場所。普通は高さ5m以上で常に流れている)を聞いた。

9時10分、参加者8人を3パーティ(安東L-荒巻、上田L-佐藤(裕)-橋本(桂)、秋山L-佐藤(彰)-上野)に分け出発。大船林道ゲート横より登山道を5分ほど進んだ所で沢の装備を付け入渓。ゴーロをパーティの実力に合わせリーダーがどのルートを行くか見極めながら進む。沢登りの面白い所はそれぞれが進みたいルートを選択できる事だ。10時46分F1に到着。今日の核心部だ。滝の様子を調べ準備に入る。秋山上が登るので下でビレイ、安東Lも登る。

水音が大きく声が届かない中、「ビレイ解除」 「登れ」の合図でロープに繋がり順に登る。途中 セットしたトライカムが外れないハプニング。全 員が登り上がり、安東し秋山しが回収に行くがや はり外れず残置となってしまった。

次は滝の上の渡渉。安東しより、滑ると滝下に落ちるので慎重にと注意がある。フィックスを張るのでそれを使って渡るようにと説明。我パーティからセルフビレイコードをロープにセットし慎重に渡り、F2を目指す。F2(暮雨の滝)は右側を登り昼食(12:40)。F2上のゴーロは左側に支谷が2本、確認しながら進む。

13時14分F3到着、これは登れないのでここで終了となる。装備をとき左岸の登山道まで登り上がり下山。14時20分駐車場着。







<反省>滝では水音で声が届かず、意思の疎通が うまくいかなかった。もっと打ち合わせをするべ きだった。また、何も言われなくてもリーダーの 考えを理解できるようにならなければダメだと思 った。トライカムの回収ミスで残置する事になり 申し訳なかった。核心部ではリーダーが何処を登 ったかしっかりと見て同じように登る事や、もた もたしていて仕事が遅い事を安東しより指摘され た。学ぶ事の多い研修となった。

参加者···安東、佐藤(裕)、佐藤(彰)、秋山、橋本(桂)、上野、荒巻、外1名 以上8名

日本山岳会 120 周年記念事業 熊野古道集中山行

土 屋 多 喜 子(会員 15827)

日本山岳会は2025年に創立120周年を迎える。それを記念する事業の1つとして山岳古道調査をし「日本山岳会が選ぶ山岳古道120選」を上梓する計画。この古道調査の一環として今回の「熊野古道集中山行」は計画された。 ①各自がコースを撰んで熊野古道を歩き終えて、②5月18日15時に大斎原に集合後、③山行報告、懇親会、宿泊、④5月19日散会

東九州支部から参加した12名は3班に分かれ、高齢者の私達グループは無理のない行程を5人で出発した。以下、我がグループの報告

5月16日、ソニック、新幹線、くろしお号を乗り継ぎ紀伊半島入り。紀伊田辺駅からバスで中辺路の近露王子近くまでで1日終わる。

5月17日、晴天の中、我等ゆっくりパーティも午前8時前、近露王子から歩き始める。登校中の小学生に声を掛けたり、洗濯物を干してる94歳の老婦人と立ち話したり、畑仕事をしている男性から声掛けられたり、遠くの山並み、茶畑の美しさなど、里歩きを楽しみながら王子から古道歩きに入る。

100以上もある王子は、熊野詣の先達を務めた修験者により在地に祀られていた諸社を王子と認定し熊野詣の途中で儀礼を行う場所とした。比曽原王子、継桜王子、中川王子、小広王子と順に中辺路の古道を歩く。杉木立は高く、空は晴れ、吹き抜ける風は気持ちよく、山道はよく整備されていて歩きやすい。蕾を着けたササユリがあちこちと見られ、王子、王子の説明文や、高名な先人達の名前に立ち止まり、説明文を読む。秀衡、仲

麻呂、後鳥羽院、定家が、和泉式部がとなかなか 前に進めない。

熊瀬川王子から女坂のつづら折れの急な上り下りでバス停に。草履峠の景は素晴らしい。坂を下りた所の道湯川橋バス停は川のほとりの深い山間、迫ってくる大きい山に圧迫され、緑の中に取り込まれそう。分け入っても分け入つても…の句がよぎる。バスで宿泊地の湯の峰温泉に着いたが、夕方までの時間に湯峯王子から大日越の坂を2時間弱歩く。

5月18日、15時大斎原に集合に合わせた行動開始。湯の峰温泉よりバスで発心門王子に、バス停に山岳会の関係者が八咫烏の絵柄のTシャツで待機していて逆方向になる発心門王子を落とさないように助言してくれる。

発心門王子、水吞王子、伏拝王子、祓殿王子、 熊野本宮大社のコースは歩き易く最も人気のクラ イマックスコース、7k程だが見所多く、時間を かけて歩く。歩く人も多く、語り部の付いている グループも多い。通り掛かりに語り部の人の説明 が耳に入るが、こんな人の話を聞きながら時間を 掛けて歩くと又一段と深い古道体験に繋がること だろう。林立する大木からの木漏れ日の下、吹き 抜ける風に市女笠の薄い虫の垂れ衣を揺らし、美 しい薦装束の女の立ち姿を想い描く。昔人の行列 はさぞかしこの古道に映えたことだろう。

本宮大社も近くなり、展望台からの大鳥居、大 斎原を見下ろせばそれらは広く鎮まっていて時の 流れが感じられた。熊野本宮大社到着。

独立した拝殿は3か所、広い神域には自ずと姿勢 を糺させる空気が漂う。気持ちよく無事に歩けた 事に感謝し手を合わせる。



15 時集合の大斎原には次第に人数が増えて、 東九州支部の12名も揃い健脚を讃えあう。自分 たちのコースを歩き終えた充実感で皆良い笑顔。 100余名の全体会、挨拶、記念撮影の後、バス で勝浦のホテルに移動。海のす ぐ傍で波音を聞きながら、珍し い洞窟温泉に入り、懇親会に出 る。

永田副会長が橋本会長の挨拶を代読。乾杯に続き、各コースの報告、グループごとのエピソードを披露など他支部の人とも交流し自分の県の山に登りに来てとか、晩餐会で会いましょう等があちこちの会話から。和やかなうちに懇親会は終わる。



支部参加者…加藤、下川、工藤、土屋、神田、丹生、大渡、久知良、平原(健)、岩崎、秋吉、平原(瑞) 以上 12 名

個 人 投 稿

ペンリルー・第 49 回

山の思い出

石 神 美 智 子 (会員 14649)

先日引き出しを整理していると、昔の古い山の写真が出てきました。ロックガーデンを経て六甲山や摩耶山から有馬温泉へ、又比良山や武奈ヶ岳から安曇川の黒谷へぬけるコース等、今は少なからず状況も変化していると思いますが、50~60年も前のものです。

私達兄弟3人でよく登った冬山の金剛山、テレビで見ていると昔の山頂は少し違うと思いましたが、60数年前の写真と比較してみると、標識の形も全く同じ、山頂当然同じ場所、記憶の曖昧さに我ながら驚きました。



中でも後立山を女性2人で縦走したのは、今でも印象深く、懐かしく想い出します。雨と風の中、白馬鑓温泉小屋から大出原の花畑には、未だ、そう花も無く、白一色の雪景色の中、縦走路に出ると、紫色のウルップソウが咲いていたのを覚えています。天狗の頭から天狗の大下りを経て不帰のキレットへ、そして不帰の剣1峰、2峰、3峰と渡り唐松岳へ。小屋に着いたのは、もう16時頃でした。

翌日は五竜岳〜北尾根ノ頭〜ロノ沢のコルへと400mもの急なガレ場を下り、キレット小屋に宿泊、翌日は急峻な岩場をクサリ伝いに八峰キレットを通過すると、信州側から黒部側に移り、難所は終わり。鹿島槍の北方と南方の分岐点に着く。北峰から南峰へ。そして冷地山荘に入り、そこで少し休憩してから、爺ヶ岳をめざす。右前方のグリーン一色の林の中に赤

(次ページへ続く)

い屋根の種池山荘が、ちらちら見えてくる。

白雪姫と七人の小人がいそうな感じがする程、メルヘンチックであった。私達2人だけで感じる静かで美しい光景でした。爺ヶ岳から種池山荘を経て、暑い暑い中、新越山荘へと頑張る。14時10分小屋着。翌日5時30分出発。

鳴沢岳、赤沢岳と縦走路を楽しむ。やはり毎日が暑い暑い晴天の一日。この辺から黒部ダムの放流がよく見え、その上を米粒大の人が動いているのが見える。マッチ箱大のロープウエイが立山方向に幽かに動いているのも見える。黒部湖の向こうに五色ヶ原がみえる。草原の緑の中に赤い屋根が2つ、美しかった。スバリ岳では岩ひばり?が帽子の上にとまったり靴を突いてくれたり数分遊んでくれた。下界の小鳥とは随分違うなあと思った。こまくさの群生を左に見ながら、暑くてきつい針ノ木岳の上りに入った。10時山頂だった・・・・・・。

小屋の前にリュックを置いてガスの中、蓮華岳を往復する。(この山、こまくさの宝庫)。何も見えない、ホワイトアウトー色の針ノ木小屋から針ノ木雪渓を扇沢へと下った。下に行く程、ガスも晴れた。

今では懐かしく楽しい想い出の1つである。

※ペンリレー・次回は丹生浩司(16103) さんにお願いしました。お楽しみに。

より安全な登山のために No.54 『落下係数とは?』

安 東 桂 三 (会員 9193)

墜落(落下)のエネルギーは、どれくらいあるのか?、そのエネルギーは人体にどれくらい影響を及ぼすかを知っておくことは必要と思う。誰もが墜落などを起こそうとか、私は滑落するとか思っていないけれど。

例えば、60 kgの体重の人間が5m墜落すると、その理論的な運動エネルギーは簡単に計算式で導きだせる。答えは、29.4kN(キロニュートン)。人間が耐えられる限界は12kN

(1200kgf) と言われ、このエネルギーを直接 受けると死亡事故につながる。

【右図】クライミングでは、ロープを使っているが、登り始めて 2m登ったところで滑落すれば、ロープが 2m延びているので 4m落ちることになる。この時落下係数は 2 となる。落下係数は墜落の距離を費やされたロープの長さで割って計算する係数。4÷2で2。

【左図】あるいは、登り始めて 2m毎に支点 (ボルトなど) にロープをクリップし、2本目、 3本目、4本目とクリップし、最後に 2m登った ところで落ちたら 4m落ちるが、落下係数は 4÷ 10で 0.4 となる。同じ 4m落ちるけど、落下係数は、「2」と「0.4」で、かなり異なる。なぜ落下係数が問題になるかというと、落下係数が衝撃荷重に関係しているので。その計算式は以下の通り。

衝撃荷重(kN) = 体重/80×落下係数×4.5 (4.5: UIAA のダイナミックロープを使った場合)

同じ4m落ちても、落下係数が「2」ならば、 60 kgの体重の人間で計算すれば、衝撃荷重は 6.75kN となる。落下係数が「0.4」の場合の衝 撃荷重は、1.35kN。落下係数を低くする努力が 人体のダメージを低く抑える。

一方、ハイキングでも同じことを考えないと身体的ダメージは計り知れない。例えば、剱岳や穂高の岩がちな一般ルートで、セルフビレイコードのようなものをハーネスにセットし、鎖などにセットしていて落ちると、セット方法や、鎖の形状などにより落下係数は高いものとなってしまう。

笹倉孝昭さんの「アルパインクライミング教本」(2020年版)の110ページには、鎖にハーネスからスリング・カラビナでセルフビレイを取っていて、落ちた場合の衝撃力は17.5kNと記載されている。確かにそれをセットしたら、少なくともセットが破断しない限り、体は鎖にとどまっているのだが。人間が耐えられる限界を超えている。

さてではどうすれば良いか。答えは岩がちなルートに行く場合は、ハーネスにショックアブソー

バー付きのシステムでセルフビレーを構築し、セットしたポイントより、体が上部に登らないように、掛け替えていくこと。出来れば、ハーネスから2本のシステムを構築し、一本が、自分の腰のハーネスと同じ高さになったら、もう一本を、最上部にセットし、掛け替えていく。これならば、落下係数は、少なくとも、「1」を越えない。

落下係数を低く抑えることが、体へのダメージ を防ぐ。

今回の『より安全な登山のために』は、当支部の佐藤裕之会員からの質問がきっかけ。それは「ランヤードによるセルフビレーは良いのか?」だった。そのシステムの話をしている最中に、荒巻会員から、「安全帯をして、作業中に落ちて、あばら骨が折れてしまった」の発言から、この課題を支部のメンバーに説明しようと思った。少ない紙面で、落下係数やら、衝撃荷重やら、そのシステムの説明は、難しいので、質問を受けたいと思う。連絡ください。

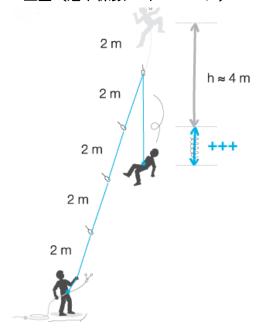
ちなみに「落下係数」とネット検索すると、多 くの説明が出てきます。また、以下に紹介文献を 載せます。

アルパインクライミング教本 笹倉孝昭 2020 年版

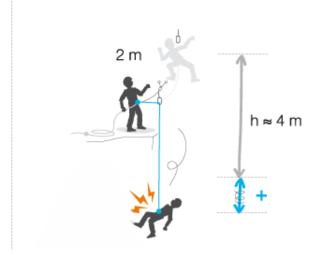
山と渓谷 2019年6月号 PETZL 落下率と衝撃荷重(理論)

確保理論テキスト 国立登山研修所 確保理論 テキスト研究会編

左図 (落下係数 4/10=0.4)



右図(落下係数 4/2=2)



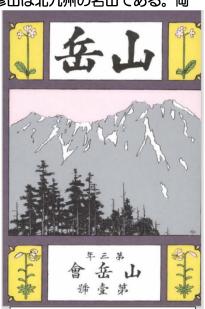
JAC 古典「山岳」拾い読み No.4

彦山の裏道

飯 田 勝 之(会員 10912)

今回は山岳の第三年第一号(明治40年3月30日発行)に記載されている「彦山の裏道」…手島漂白記をご紹介しよう。

本記事は執筆者が明治 40 年 8 月に、裏道とあるように、日田から小野川沿いの道を登り、岳滅鬼峠を経て英彦山に登り、豊前坊へと下山した山行記である。「彦山は北九州の名山である。両



山岳・第三年第壹号の表紙

原驛より、③筑後より、④豊後日田町よりある が、④の登路は最険阻で尤興味が多い」と紹介し ている。そして朝、久留米を出て日田に至る十二 里の往還道を歩いて日田に泊っているが、筑後平 野とその両側の山並みを紹介しながら、両岸に山 が迫る谷間から日田に入ると「日田の郡に入ると ともに旅客は必一驚するであろう、それは眼前に 磨鉢の底の如き日田平原が展開せらるるから で・・・」と記している。「翌日は市街を通って 耶馬渓を経て中津町に至るべき街道を進ん だ・・・町から一丁半藤山村で筑水の上流は二分 する道も二分して、英彦山道は左方の岐路に入る ので、中津道から離れる・・・」と小野川沿いの 道を登っている。「朝早かったから十一時ごろに は英彦山裏口の中山村に着き(日田から三里半 位)五十余りの老爺を案内に雇った、茲は登山の 第一關門で直に半腸たる坂道となる、木立も深 し、道とても夏草彌が上に生繁り、木の根岩角可 なりこたへる、渓流に沿ふて登路一里で岳女鬼の 洞門に着いた、圖に見た妙義の石門に似て「華法 洞」と刻られ、傍らに法蓮上人の霊場の石標が建 って居る、上人茲に静座して佛典の研究に勉めた ものか其譯は知らない・・・第二の關門も漸く無 事で「從是北豊前中津領」の石標のある峠に少休 して辨當を平らげにかゝった」岳滅鬼峠から先は 案内人も迷うほどの道を辿って行き「左に驚くべ き一本の巨杉を見出した、俗に『鬼杉』と言ふて 周圍實に五丈根の處は尚大きい、之を板にせば幅 一丈五尺位の板を得る筈である・・・又登って、 年の風雨に荒廢している大南不動堂を拜した、茲 にも岐路があるから右手に登る、是から最險絶の 登攀で、三丈餘の鐡鎖を垂るゝ事二ヶ所である、 其途中に『鬼の岩屋』と呼ぶのは玄武岩の露出せ るもので、六角形の柱状をなし、幾百となく重な って、實に見事である」・・・、



「岩片が一歩毎にごろごろ落ちるので後の者は頗 危險である、山はと見れば春筝の矗立とでも形容 したい位、朝來山又山越へた吾等は頗難色があっ た、が間もなく頂上草原に佇立した時、誰が快哉 を叫ばない者があらふか、観よ眼前の壯観大景 を、今にも吾々の越來た山々は低く脚下に平伏し ているが・・・其中にも権現、釈迦、地蔵の三 山は比肩して立ち、尚遥に高い鋸歯状の山は言ふ 迄もなく阿蘇五岳中の一なる根子岳である、左方 に轉じては玖珠郡のはね山、硫黄山、湧葢山、烏 帽子状の由布山,各豪然として下らず、泰然とし て動かず・・・」と山頂の景観を絶賛している。 執筆者はその後豊前坊へと下山している。

余禄

この号の「雑禄」に「九州高山の高度」という 頁があり、九州の高山を30座載せている。日 く、久住山(1787.9m)、大船山(1787.1m),九 重山(星生山?)(1764.0)、祖母山(1757.5m)、 三俣山(1744.8m)、国見山(1738.9m)、市房山 (1721.8m)、久住山西方の一峯(扇ヶ鼻?) (1700.0m) 祖母山南方の一峯(障子岳) (1700.0m)、西霧島山(韓国岳)

(1699.9m)、向坂山(1684.4m)、市房山の北の峰 (ニッ岩) (1671.7m)、霧立山(扇山)

(1661.3m)、白岩山(1646.4m)、上福根山(1645.3m)、五勇山(1643.8m)、大崩山(1643.3m)、本谷山(1642.9m)、平治岳(1642.8m)、烏帽子岳南の一峯(白鳥山)

(1638.8m)、尾平山(古祖母山)(1633.1m)、傾山(1604.9m)、江代山(1604.7m)、高嶽)(1592.4m)、由布岳(1583.5m)、三方山(1577.5m)、東霧島山(高千穂峰)(1574.0m)、黒嶽(1550.0m)根子岳(14320m)、鶴見嶽(1374.5m)、温泉嶽(1359.7m)、烏帽子岳(阿蘇)(1337.3m)、中岳(1323.0m)、英彦山(11996m)と紹介されているが、この記事の中に「屋久島の八重岳にして、従来の地理書に、ある如く、六千四百餘尺あれば是れ實に九州第一の高山にして右表の最右翼に位すべしと雖、未だ詳細なる高度を知り得ざるは遺憾とす」とある。

() 内筆者注 (飯田勝之記)

こぎこぎ倶楽部 場照山付近の 県境稜線踏査

甲 斐 英 男 (会友 248)

2024年4月28日(日)

午前7時に佐伯市総合運動公園に車7台16名が集合し、4台に分乗して芦川谷中ほどまで移動。芦川谷林道入口から2.3km程の道脇の広場に駐車。地面には無数のシナアブラギリの白い花が散らばっている中を7時50に出発。

この日は自宅を出る時から霧が立ち込めていて、現地では曇りです。林道歩きもわずかに気温も上がり湿度も感じられるほどでした。出発する前にリーダーがマダニ対策として持参した虫除けのアース・スプレーを全員の足首あたりに散布します。

歩き始めて約20分、高藤橋という橋を渡ると 林道は急に荒れてきて、進むほどに益々荒れてき ます。国土地理院地図にある林道とは名ばかりの 道を行くと、やがて地図上の破線の道になり道は いっそう怪しくなります。そうしてしばらく行く とその道も定かでなくなり、風倒木を越えたり潜 ったり巻いたりと、全員の歩くスペースが落ちま す。

途中に石で作られた炭焼き窯跡が3箇所確認できました。炭焼き窯は天井部分が陥没していますが、かっては燃料が木炭であった事が思い出されます。その時代はこの道も山仕事に盛んに行き来していたと思われますが、植林地帯にわずかに道筋跡も確認できました。

途中で立ち止まって見ると何人かの足元にヤマ ヒルが取り付いていました。アースはヤマヒルに



は効果がないのか、途中でチェックをすると、赤い血が出ていて何人かは既に噛まれていました。

当初の計画は坂本への稜線を登って帰りにこの 芦川谷を下る計画でしたが、リーダーの判断で逆 ルートに変更されました、リーダーいわく『知ら ない谷は下るな! これは山歩きの鉄則』だとの 事で、やはりこの谷は登るのが正解でした。

崖の下を巻いたり、対岸の斜面に取り付いたり、悪戦苦闘の道なき谷の登りが続きます。急斜面を<u>へつり</u>ながら登り付いたところが尾根で、時刻は午前 11 時 20 分過ぎ。ちょっと平らな所を選んで中食となりました。

東側の尾根伝いにコースを登ると県境稜線に出ました。

12時20分、右手上に場照山の頂が見え、往復40~50分だと思われますが、予定のコースタイムを1時間ほど過ぎているので場照山頂をあきらめて先を急ぎます。10分程で津島畑山の方へ連なる県境稜線と別れて右にカーブします。そしてすぐ先の道脇に、中が空の石の祠と、その横に首のないお地蔵さんがありました。稜線道は広く伐り開かれていて実に歩きやすく、それまでの道なき登りや藪漕ぎ後なので、「高速道路ね!」と女性が会話をするほどでした。

5、6回のアップダウンの後、本日の次の目標の森崎三角点へ13時40分過ぎに到着。無傷の三等三角点がひっそりとありました。予定時刻から50分程下がってるので、そこから稜線下りのエスケープルートの提案がリーダーからありましたが、皆は次に行こうと意欲的です。集合写真を撮って下って行き、どんどん下って2、3回のアップダウンのあと、大きな登り返しで、最後はかなり急な登りで坂本の三角点です。小さな4等三角点を囲んで記念撮影。



あとは芦川谷の芦川林道 139 支線に向かって 稜線下りです。小さなアップダウンの尾根を下 り、尾根の末端まで行きます。最後は林道の上の 崖でした。(林道を通す際に尾根は切通しになる 事は承知のうえ)4m くらいの岩壁です、メンバ ーがザイルを 2 箇所設置して、16 人全員スマートに着地しました。そして駐車場まで林道歩き約 25 分、4 台の車で朝の集合場所に戻って終礼後 それぞれ帰宅の途に付きました。

参加者…飯田、鹿島、佐藤(裕)、神田、境、今川、古谷(耕)、宮本、清水(道)、清水(久)、雪野、榎園、甲斐(英)、佐藤(美)、井村、土屋 以上 16名

こぎこぎ倶楽部 中/嶺〜陸地峠の 県境稜線踏査

境 卓也(会員16577)

2024年5月26日(日) 晴れ

コース: 林道宇目蒲江線中ノ嶺 548.6m登り口8:30-中ノ嶺 8:55/9:25-499m独標-陸地峠540.7m 13:10/13:15-林道宇目蒲江線下り口13:20

日豊本線の重岡駅に午前8時集合。出発の予定だったが、全員時間前に揃ったので出発した。あいにくの天気で雨がぽつりときたが、登り始めるときにはやんでいて、そのあとは曇りがちだったがよくなり、午後から晴天となった。林道宇目蒲江線中ノ嶺登り口でドライバー以外の人はここで



下車して、車5台は陸地峠まで行って車をデポ して登り口まで1台の車でかえって来た。

林道から登りにかかった。しばらく行って右の ほうに登る。鹿対策のネットがありこれを過ぎ た。ネットに沿って登り、中腹あたりでネットを 横切った。くぐりぬけるのに少し苦労した。 すぐに中ノ嶺の標識がある山頂についた。三角点 があった。ここからは緩いくだりとなった。左側 は植林右側は自然林で歩き易い。下りとのぼりを 繰り返す尾根歩きだった。植林地帯が続くと、自 然林が現れる。なかなかいい感じだと思っている とまた植林地帯という状況だった。

自然林が続いている間の尾根では小さなイナモリ ソウの群生があって女性たちがちいさな花の撮影 に忙しかった。ピンクが一般的だそうだが、白い のがあったときには、にぎやかだった





ほかにもコナスビ、タツナミソウ、イチヤクソウ、ヤマゴボウなどの花が目を楽しませた。2時間近く歩いたところで499mの独標を過ぎた。

藪のなかの登山道でもあって、独標を確認することは難しかった。ここを過ぎると伐採の場所があって見晴らしのいいところに着いた。宮崎側の山なみがきれいに見えた。

11 時半ころ大分県側が広く伐採されて、眼下に林道宇目蒲江線が見える、展望の開けたところで昼食とった。昼食後ゆるやかな坂を登ると視界が開けてシキミが見渡されるシキミ畑に着いた。よく手入れされていて美しかった。シキミ畑を過ぎて、陸地峠の手前で登りにかかるところから少々藪こぎ状態となった。鋭利な刃物で道を開いているので足元のとがった木をよく見て注意して歩いたが、しかし長くはなかった。

陸地峠は西南戦役における直川村の最後の激戦 地である。2ヶ月にわたる攻防のあとある風雨の 夜中官軍が攻撃を仕掛け薩軍は崩壊し逃亡したと 峠の看板に記してあった。 山頂には540.7mの三角点があり、又「西南 之役陸地峠戦争の跡」と記した碑があった。陸地 峠で解散した。

出発時は雨かと思われるような天気だったが、 後半は陽光が明るく素晴らしい天気となった。稜 線の南側、延岡側は視界が広がるところが多く山 なみが美しく見えた。馴染みの薄い山ばかりで飯 田さんの説明を聞いても記憶に残らなかった。

飯田さんからの写真です。花の写真は井村さん よりです。緩やかな稜線歩き、花にもめぐまれ楽 しい山行だった。企画者の飯田さんありがとうご ざいました。

参加者・・・飯田、宮原、境、今川、遠江、古谷 (耕)、清水(道)、榎園、飛高、井村 以上 10名 記録・・・距離・3.7km、登り・268m 下り・220m、歩数・6201歩、669kcal

こぎこぎ倶楽部 JR立石トンネル上 の稜線歩き

飯 田 勝 之(会員 10912)

2024年6月8日(日)曇のち雨

6月のこぎこぎ俱楽部山行は、シリーズで続けている県境の稜線歩きと一寸趣向を変えた里山歩き。下を日豊本線下り線のトンネルが通っている上の稜線歩きです。

8日(土)午前8時に「峠たていしの館」前に集合し、下山予定地の津波戸山登山口の駐車場に車4台をデポして、途中の工事中の手前に車をとめて、先ずは500m程の市道歩きが足慣らしです。

9時過ぎ、峠の掘り割りから稜線への取り付きがいきなりの急登です。しかし登り切れば緩やかな稜線のアップダウンコース。さほど深くないヤブや倒木などと戯れながら進んでいきます。三つ目の小ピークを登り着いた所が最初の目的地、点名・「景平」標高300.9mの四等三角点です。「なんだ、そんなに低いところなのか。随分登った気持がするけど・・」とそんな声が聞こえます。

ちょっと汗ばむ体に心地よい風が林内を吹き抜けていきますが、その風がちょっと湿っぽい。天

気予報は曇のち雨、その雨は午後か夕方か定かでないが、上空は厚い雲に覆われています。「下るまで降らないで欲しい」そんな会話が混じりあう山上の休憩です

ー休みして、集合写真を撮って出発です。ちょっと急な斜面を下ると、あとは一つ、二つ、三つ



と小さなアップダウンが続きます。稜線の右は植林地が多いけど、左側はずっと自然林が続き、とても心地よい稜線歩きです。スギ木立の開けたところから右手に津波戸山が大きく高く見えます。誰かが見つけた、立ち枯れの巨木に生えた無数のキクラゲ、誰かが手の届かないところまでストックを延ばして採ったりしています。

五つ目の登りで着いたところが 255m の標高点です。時刻は11時半過ぎ、ここでランチタイムとなりました。食べ終わるころ額にポツンと冷たい物・・・、今にも泣きだしそうな厚い雲からポツン、ポツン、ポツンと落ちてきました。「あっ、雨が・・」「もう来たか・・」しかし、ほんの幾しずく程度であとはないようです。

下山は急ぐ方が良いと12時前に再出発。緩く下った先は、両側がシイ、カシ、タブ、ナラなどの天然林の緩やかなアップダウンの稜線道はさながらプロムナードです。途中でヤマザクラの巨木がひときわ目を引きます。

やや長い下りで 160m の最低鞍部を通過後、最後の登りが始まります。一旦小ピークを登り越して、今日の最後の登りで12時50分、点名・

「向野」200.5mの四等三角点、山名・城山(じょうやま)または向野城山に到着です。その名の通り、古い山城の名残をとどめる、人の手が加えられた跡の地形が見られます。

以前は年に一度、麓集落から道の掃除や山頂の 手入れなどに上がって、山頂でお花見などもして



いたとのことですが、今はその面影はありません。ここでも集合写真を撮って下山開始。下りの斜面はシイとカシの極相林の様相を見せる快適な稜線道から始まり、その後はスギ林緩斜下りとなり、下りきって林を抜けるとパッと明るい舗装道に飛び出ました。13時15分、車を止めている津波戸山登山口の駐車場は間近です。心配していた雨は解散まで降らずに終わりました。

参加者•••飯田(勝)、石神、櫻井、境、宮原、遠江、宮本、平原(瑞)、榎園、甲斐(英)、井村、 土谷 以上 12 名

個人山行報告

「祖母傾完全縦走」

寺 道 和 代 (準会員 A-0599)

日時 令和6年5月24日(金)~26日(日) 1日目:健男社(6:00)~障子岩(9:40)~大障子岩

(12:30)~八丁越(13:20)~池の原(14:30) ~祖母山9合目小屋(泊)(16:20)

2日目:祖母山9合目小屋(6:35)~祖母山(6:

40)~天狗岩(8:15)~障子岳(9:00)~古祖母 山(10:20)~尾平越(12:05)~丸山(13:25)~

本谷山(14:50)~笠松山(16:00)~九折越小屋 (泊)(47:30)

(泊) (17:20)

3日目: 九折越小屋(6:00)~杉ヶ越分岐(7:00)~ 傾山(7:30)~三ツ尾コース~九折登山口(13:

1日目:天気:晴れ 小屋泊装備・水分・食料担いでの縦走開始。安東支部長の胸を借りるつもりで、チャレンジ!するぞと心に誓うが、内心不

安で仕方が無い。障子岩までの激登に、ザックの 重量に足が上がらない。障子岩から大障子岩まで 行程は稜線歩きで、景観もよく、若葉風もあり気 持ちが良い。前障子(障子岩)からロープを使 い、懸垂下降。ちょっとしたロープワークに、疲 れが吹っ飛んだ。八丁越から小屋までが長い道の りに、足には豆ができ心が折れそうになる。前方 で安東支部長が『頑張れ』、後方で橋本さんと南 家さんが『ガンバ!』との声が耳に響く。心の中 では、(なんてものに、参加すると言ってしまっ たのだろう。しかし、もはや私 1 人の計画では 無く、私がリタイヤするわけにはいかない)のだ と自分に言い聞かせ、ようやく小屋にたどり着い た。初めての祖母山九合目小屋、中は広く、水場 も近く、とても快適である。4人で乾杯をして、 山談議に花が咲いた。

2日目:橋本さんと南家さんは、日の出を見に 4時起床し、祖母山へ。私も行きたい!との思い もあったが、ここは体力温存すべきと、小屋で待 つ。橋本さんが、私を気遣い早々に素敵な日の出 写真を送ってくれた。朝食をすませ、祖母山に登 頂。360度山々の稜線がくっきりと目に鮮やか で、何度訪れても素晴らしい山である。4人で記 念撮影し早々に天狗岩へ、天狗岩の鼻の部分まで



行くと、荘厳な万緑の景色が下界に見える。天狗 の顎の部分に行った人がいると聞くが、懸垂下降 するにしても、かなりの猛者でなければ辿り着か ないだろうとの話があった。

障子岳~古祖母山と岩好きな私としては、楽しい道であるが、荷物の重さに苦労する。尾平越~丸山越えて本谷山までの、緩いが長ーい、本当に長い登りが続く。安東支部長が元気をつけようと、山の歌を沢山歌ってくださった。橋本さんと南家さんの昆虫・鳥談議を聞きながら勇気に変えて、おかげでなんとか本谷山まで到着。

本谷山~小屋までの緑さす新樹の下り道を楽しむ余裕は無く、豆は水疱になり、足首も痛み発症、なんだかおかしい。捻挫か?どこでひねった?と考えるが、わからない。ようやく小屋に到着。疲労困憊で水汲みは、3人にお願いしてしまった。

3日目:最終日、安東支部長の『半分くらいは元気戻った?』との『全開では無く半分くらいは?』との心ある気遣いの問いかけに、安東支部長の優しさが心に浸みる。こんな気遣いのできる質問を、私は過去に聞いたことがない。頑張ろうと思った。後傾から傾山に登頂。

やっぱり傾山は格好いい!素敵な素晴らしい山である。観音滝までの長い下りに膝はガクガクになりながら、無事、怪我も無く下山。

私のレベルでは、無謀なチャレンジであったが、支部長、橋本さん、南家さんに心身ともに支えていただき、なんとか完走できた山行であった。ありがとうございました。



参加者…安東・橋本・寺道・他1名

個人山行報告

「富士山での高所トレーニング 山行に参加して」

笠 井 美 世 (会員 16883)

昨年秋にネパールのアマダブラム山行に誘われた。自分の実力以上の山行に不安でしょうがなかったが、前向きに考えようと思った。ご一緒する 千葉支部の方とも何度か顔合わせをしたが、近くに相談する人もなく、自分を見つめていくしかな かった。自分なりにトレーニングも始めた。そんな時、参加メンバーとのミーティングで、クライミングの内容は岩場のアイゼンワークや懸垂下降と聞き、今まで東九州支部の研修山行でやってきたことで行けるのではないかと思えてきた。春には参加を決めた。梅雨前になり、安東支部長も参加を決めた。そして、早速高所トレーニングが具体的に始まった。

6月11日、鶴見岳一気登山を矢野さんとご一緒した。標高差は富士山五合目から山頂までと同じ約1300m。別府スパビーチを出発して鶴見岳往復は10時間半。距離22km。帰宅後、安東支部長から富士山の山行メールが届いていた。

6月14日、大分駅を始発で出発した。新富士 駅からレンタカーで富士宮口五合月登山口 (2375m)へ向かった。駐車場から見上げる富士 山には雲がかかっていたが、稜線上に小屋が建っ ているのがわかる。「あの間を登っていくのだ な」とイメージがわいてくる。駐車場にツェルト 泊。夜は2台しか止まっていなかったが、朝起 きると満車になっていた。15日3時55分出 発。7合目の小屋からは標高3000mを越え て、息は苦しくなり、足が重たく、肩が痛い。火 山礫は足が滑る。岩場の一歩で息が切れる。安東 さんはコースタイムの半分ほどで歩くが、私は遅 れてしまう。安東さんから「呼吸を意識して」と 声がかかる。9合目からはアイゼンを装着し雪渓 を登る。ここ数年間介護のため雪山に行かれなか ったが、久しぶりの雪山は楽しかった。富士宮口 山頂に8時35分到着。喜んだのもつかの間、 先の頂きに富士山測候所が見えた。

溶け始めた雪を踏みながら、今度は大きく声を 出すように息を吐いてみると苦しさは軽くなっ た。最後の急登が、がつがつ登れる。9時 3776mの剣ケ峰に到着した。御鉢の景色は荒々 しく美しかった。

溶岩がそのまま固まった岩々。足元は赤い石。 富士山の裾野は緑。360度下界を眺める。伊豆 半島から駿河湾、諏訪湖に南アルプス。そして芦 ノ湖。富士宮口山頂で昼食を取り、下山開始。帰 りはブル道を走るように下った。急ぐので高山病 がなかなか取れなかった。12時55分登山口に 到着。9時間。距離12km。鶴見岳よりも随分 急峻だった。 目的だった高所の経験ができた。私は肺活量も 少ないと思うが、呼吸の仕方で随分楽になること がわかった。あと4か月トレーニングしていきた い。富士山は登るものでなく見るものだと何度と なく聞いてきたが、やっぱり富士山は登る山、素 晴らしい山だった。

参加者…安東、笠井





立石峠と宗太郎越え

安 部 可 人(会友11)

(1) 先日のこぎこぎ倶楽部の立石峠~向野縦走の出発点立石の歴史。「立石駅北一帯は、立石藩の城下町だった。北部中学校付近に城主の館があった。宿場町でもあり、難所の峠越えに備えた。 長流寺は領主木下公の菩提寺、立石小学校から右手へ、領主の立派な墓がある」。是非訪れたい。 繁栄した馬上金山も近い。「この立石峠は数度の

掘り下げで、昔の急坂はなくなった」トンネル以 前昔の国鉄は急こう配の峠に苦戦している。歴史 ある峠だ。大内軍侵攻を予想した大友宗麟の父義 鑑はこの峠に布陣した。もう一つの布陣地は、地 蔵峠(山城仲間佐藤の写真あるが、GPS なく座 標を記録していない)。宮本会員からのメール 「日野地からザビエルが歩いた道、走破ウオーキ ングで供養の地蔵様(峠)を見ました。その後何 度も独りで目指しましたが、その都度迷いまし た」歴史家甲斐素純の地形図上の峠は、広い30 O台地の346の近くをさしている。無理があ る。即ち、「戦前定野尾では米木炭薪を牛馬に荷 わせてこの地蔵峠を越えて、豊後高田へ行商へ行 ったという」「七夕祭には、定尾野の人々は酒・ 魚を持って峠に登り、地蔵様の前でおこもりをし ていたという」甲斐氏の峠は、遠回りになり、険 阻である。読図から判断すれば、423定野尾池 辺り290m高度の空き地座標03.7秒、5 6.8秒が該当する(?)。(向野が在所の宮本情 報)向野で戦死した大内方の中島氏の墓が向野に あって、現代の一族が墓を移して、何百年もの向 野地区の墓守への感謝状があるそうです。大村山 山麓で敗れた大内軍は、高田海岸へ敗走舟で山口 に帰った。その時中島は戦死でしょう。(注)山 口の五重の塔を遺した大内義隆は、二度と豊後国 攻めには来なかった。博多貿易の権限確保のた め、大友と大内は長年戦った。臼杵の姫岳の戦も その流れです。また、姫島沖でも水軍同士が戦し た。(2) 県境最後の峠は、宗太郎越えです。甲 斐氏の歴史案内を参考にしましょう。大正12 年、地元の駅設置請願書により、今の無人駅があ る。甲斐ルート~国道10号線 ~県道43小川 沿い~松葉吐左折~川内名松葉・48神社寺記号 をみる、矢の内の下塚神社から細道を左折1.3 kmで宗太郎越295.7着。高度差148m、 軽トラでも行けそうな懐かしい風景(写真)いっ ちみてーな。地元の高野さんは40分で峠を越え て駅から延岡の高校に通学していた。越えは木々 が繁り、子供心にはとても怖かった、駅まで20

分かけ下ったそうです。今や廃道化。 地形図 「立石」「重岡」 出典 甲斐素純「九州の峠」

私の無名山ガイドブック No.93

合使山(918.1m) 合使奥(762.5m)

飯 田 勝 之 (会員 10912)

今回も中津市山国町の奥耶馬渓の最奥部に近い三 角点ピークへのルートの紹介である。

合使山

点名・合使山·おうしやまと読む。犬ヶ岳の西から南に派生し、山国川源流とその支流の津民川との分水嶺をなす稜線は旧耶馬渓町と山国町の境界線で、複雑に湾曲しながら中摩殿畑山へと延びている。その途中にある稜線上の最高地点である。この山域はほとんど山頂稜線近くまで植林がなされているが、このピークの付近は天然林が残り、近くにはシデ、カエデ、ナラ、アラカシ、ノグルミなどが見られる。

国道496号の合使入口バス停から合使へ至る 車道を入り、合使に入らずに林道を直進すると約 4.3km付近で、林道右手に小広場がある。左 手のスギ林の緩斜面に、道路から同じ高さで入っ て行ける踏み跡道がある。ここが取り付きによ い。林の中は始めは緩斜面だがすぐに急な斜面と なるが、そのまま直登していく。林道から15分 ほど登ると自然林となり、小尾根の登りでほどな く平らな稜線上の肩に着く。その先は再び小尾根 状の急斜面の登り。15分ほどでシャクナゲの小 群落が現れるとそこは山頂の西の肩で、二.三分 ほど北東に行けば山頂である。

東西に長い山頂部の東の端近くが最高地点で、三 角点はその地点から北に2mほど行った、やや低



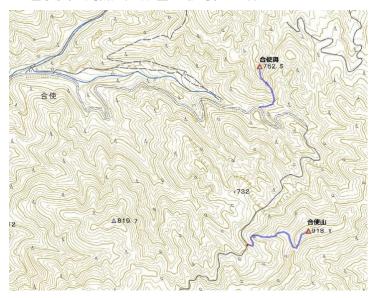
参考タイム: 林道→30分→稜線の肩→20分→ 山頂(地形図: 耶馬渓西部)

合使奥

点名・合使奥(おうしおく)。犬ヶ岳の西から 南に派生する稜線上の、合使山と中摩殿畑山のほ ぼ中間にあり、津民川の支流である柾木川の源流 を成すピークである。この山域もほとんど山頂稜 線近くまで植林がなされており、このピークも植 林地の中である。

国道496号の合使入口バス停から合使へ至る車道を入り、合使に入らずに林道を直進すると約3.3km付近で左下に沢が迫った地点がとりつきに良い。一旦下の沢に下り、対岸の斜面を斜めに引き返し気味に西へ登り、小さな稜線を越えてその下の沢に下る。そして、その沢を直登して主稜線まで登り、左へ直角に直としてもよいが、沢から灌木林の斜面に取り付いて、鹿避けネットをくぐってスギの幼木の中を直登していき、再びネットをくぐって、山頂から南南東に下る稜線を登ると登りやすい。東西に長い稜線上の小ピークが山頂で、東西にシカ避けのネットが張られたそばに県林業公社のコンクリート柱があり、その東1.5mの所に三角点がある。

参考タイム:林道→20分→二つ目の沢→30分 →合使奥三角点(地形図:耶馬渓西部)



令和6年度 本部通常総会

安東桂三 (9193)

令和6年度通常総会が6月22日、開催された。総会はZOOMでも配信されたので、ZOOMを見た東九州の会員も多かったと思う。事業報告を簡単にすると、コロナ以前の状況に戻したい1年であったが、戻せたわけではなかった。また、令和5年度は、創設以来、始めて赤字予算で(500万円の赤字)臨んだ。

コロナによる行動制限の影響は大きく、会員数減少は食い止められず、本会の会員・準会員の合計数は4424名となった。

第36回全国支部懇談会(群馬支部)、年次晚 餐会、学生を中心とする海外登山報告会など、盛 況であった。将来に向けて、戦略的活動を開始 し、会員増加を目標とし、東京支部設立構想、会 報「山」の電子化試行、Google Workspace に よる「JACアカウント」の導入、などをする。 これらが、総会の要旨だが、実際に何をするの か、何が出来るのかとなると、一番は赤字体質か らの脱却が出来るかにかかっている。つまり、収 入を上げねばならない。会費収入、寄付収入、事 業収入があるが、会員を増やすこと、120周年 事業の寄付を募ること。有償の講演会、有償の登 山教室、「山」「山岳」Webなどの広告料、など を考えている。規約について、入会金の変更、準 会員としての期間の変更が承認された。入会を促 進するために、入会金が2万円から1万円に減 額された。準会員は、3年の準会員期間が、1年 に短縮された。いくつかの質問、いくつかの提案 があったが、総会議案書を改めることにはならな かった。私が思うに、日本における根本的な課 題、少子高齢化により人口減少、財政赤字と同じ ような状況に、日本山岳会は置かれているという ことだと思った。それを考えながら、日本山岳会 のクラブライフを行っていくことが重要と思っ た。本年の4月に発表された人口戦略会議の

『地方自治体「持続可能性」分析レポート』では、大分県は、九州内の各県の中で、一番に持続性が低い、つまり、一番生き残れないと表現されたと思う。その中で、東九州支部の発展は、個々の会員の努力にかかっていると思う。九州5支部の中で、東九州支部は、一番会員数の多い支部で

あり、一番平均年齢の若い支部であり、大分県は 九州で一番の山岳県だから。

会員、準会員に配布された総会議案書は、一度、 じっくりと目を通してください。それから得られ るヒントは、今後のクラブライフのヒントとなる と思う。(2024.6.29 安東桂三)

お知らせコーナー

支部からの報告(会務報告)

支部会議開催報告

第1回役員会 5月10日(金)

大分市西部公民館(支部ルームと兼ねる)

- 1. 祖母傾大崩登山ガイドブックについて
- 2. 役員の増減、リーダー格扱いについて
- 3. 登山教室について
- 4. 登山実施計画について 他

第2回役員会 7月18日(木)

大分市西部公民館

- 1. 大分百山残本処理及び今後の方針について
- 2.「山の日」登山会について
- 3. 登山教室について
- 4. 登山実施計画について 他

支部ルーム開催状況

5月10日(金) 大分市西部公民館 出席者9名6月7日(金) 大分市西部公民館 出席者5名7月5日(金) 大分市西部公民館 出席者2名

支部ルーム開催予定

8月 2日(金)大分市西部公民館 18:30 9月 6日(金)大分市西部公民館 18:30 10月4日(金)大分市西部公民館 18:30

支部からのお知らせ

月例山行のご案内

8月:安全を祈る集い

実施日…8月4日(日)

集合場所・・・・久住山御池遭難避難小屋近く 遭難慰霊碑前 出発…牧ノ戸峠 午前8時出発

担当···阿南寿範

参加申し込み…下記メールにお願いします

Email <u>beca5844@oct-net.ne.jp</u>

9月例山行:石鎚山

実施日…9月22日(日)、23日(月) 参加申し込み期限…6月30日で締切ました 担当 佐藤 彰

10月例山行:夏木山~木山内岳縦走

実施日:10月13日(日)

所要時間:10時間 距離:14.2km 集合場所····木山内岳登山口起点

参加申し込み期限…10月1日(火)まで

担当…鹿島正隆

参加申し込み…下記メールにお願いします。 Email macpapa@kcf.biglobe.ne.jp

※地図 木浦鉱山 1/25,000

11 月例山行:木山内岳~桑原山縦走

実施日…11月17日(日)

所要時間:11時間 距離:12.8km

木山内登山口~桑原山登山口

参加申し込み期限…11月5日(火)まで

担当···鹿島正隆

参加申し込み…下記メールにお願いします。

Email macpapa@kcf.biglobe.ne.jp

<u>※地図 木浦鉱山 祝子川 1/25,000</u>

シニアトレッキング

第二回 花牟礼山(1170.3m)9月29日(日)

集合時間…午前8時集合

集合場所…旧阿蘇野小学校 駐車場

申込先:下川智子 <u>hukus@yahoo.co.jp</u>

電話番号 090-9076-3991

締め切り… 9月20日(金)

第三回 鎮南山(536.4m)7年3月9日(日)

スズタケ枯死とシカの食害調査

大分県生物研究会と共同作業でスズタケ枯死とシ カの食害調査をしています。

実施日…10月5日(土)

実施場所…祖母・傾山系本谷山西の稜線

※募集要項は一斉メールにてお知らせします。

韓国山岳会との交登山会について

本年 10 月頃に計画していました韓国山岳会蔚山 支部との交流登山会は、安東支部長に連絡が入るよ うになっておりますがまだ未定です。

今後の方針が決まり次第・検討し、ご案内いたし ます。

支部忘年登山と忘年会

日 時……12月14日(土)(予定)

申込・問い合わせ事務局…阿南寿範

TEL 097-597-7120

(携帯) 080-3187-2003

Email <u>beca5844@oct-net.ne.jp</u>

詳しい予定は次回お知らせします。

2024 ふるさとの山に登ろう in 大分市

8月11日は山の日です!

山の日登山『雨乞岳・烏帽子岳・鎧ヶ岳』 に登ろう!

日時…令和6年8月11日(日)

受付…午前9時30分~10時00分

集合場所…四辻峠 駐車場

※一般駐車場は、「旧 香りの森博物館 下 駐車場」をご利用ください。

场」 るこが用くたらい。

コース・・登山開始(10:15)→雨乞岳→烏帽子岳→

鎧ヶ岳(12:00)・昼食→林道<平成パークライン

>→四辻峠(13:00)解散

雨天中止…当日7:00頃までに大分県山岳連盟の

ブログにてお知らせします。

問い合わせ先…大分県山岳連盟 原 勇人

電話番号:090-4341-9209

第8回 槇有恒碑前祭•北九州支部主催

日 時……令和6年10月27日(日)

場 所……北九州市(門司 風師山)

※参加ご希望の方は、事務局まで連絡下さい。

第 11 回登山教室のお知らせ

第3回講座 7月31日 救急法講座 場所:ホルトホール 201号室 受付18:00~ 会員等参加可(詳細は後日お知らせします)

第4回講座 9月8日(日)久住山体力に合わせてコース選択

第5回講座 10月3日(木)座学研修 場所:ホルトホール201号室 受付18:00~ 地図の見方やコンパスの使い方の基礎を学ぶ 会員等参加可(詳細は後日お知らせします)

第6回講座 10月20日(日)みそこぶし山 コンパスの使い方・地図読みの勉強 会員等参加可(詳細は後日お知らせします)

会費納入のお願い

支部会費は、支部規則で6月末が納入期限となっています。未納の方は早めに納入お願いします。 支部の皆さんの協力で成り立っております。お納め頂くようお願い致します。

新人会員の紹介

会 友 田浦 良太 会友番号 298

後記

•6月のある日、S君・M君とあるヤブ山を歩いていた時、先頭を行くM君「あっ、蛇が」と言って立ち止まった。見るとマムシだ。朝日を浴びている最中だったのだ。

- ・この頃、ほとんど山で蛇を見ることが少なくなったような気がする。ハンターを趣味とする友人が言うには「猪が増えたから、蛇が減ってきたのだ。蛇は猪の大好物だから」とのことだ。
- ・今年も猛暑・酷暑・烈暑の夏がやってきた。山 に涼を求めると言って九重山に入って行った時 代が懐かしい。あの頃は夏の坊がつるは別天地 だった。今も・・・・。
- ・1600m~1700mの稜線もジリジリ、カンカンが思いやられる山歩き。容赦なく照りつける太陽。それでもやはり、君は山に行くのだ。
- ミヤマキリシマの終わった後、白いノリウツギの花が山肌一面に散らばって見える真夏の九重山はやはり我々の山だ。花が、風が、カッコウが呼んでいる。
- ・今号から編集の主担当が交代しました。支部会員 の積極的な投稿をお待ちしています。字数は 1200字(原稿用紙3枚)程度が適当ですが、長く ても1500字程度にとどめて下さると、手ごろ な読み物になりますのでご留意ください。

 $(K \cdot I)$

・次回の原稿の締切は9月末日迄です。よろしくお願い致します。(M・N)

公益社団法人日本山岳会東九州支部 東 九 州 支 部 報 第 106 号

2024年(令和6年)7月25日発行

発行者 安東桂三

編集者 中野 稔・飯田勝之

発行所 事務局

〒879-1113 大分市中判田 15-55 阿南方

TEL·FAX 097-797-7120

E - mail beca5844@oct-net.ne.ip

